

公民館だより

53.6
由良公民館

本年度由良公民館活動方針

目標 明るく住みよい由良にするために

1. 区民の一人一人が明るく立派になっていくよう努力していただく。
2. 人間尊重の精神を養い、区民相互の連帯を深める。
3. 教養や趣味などの活動を通じて、健康で明るい人間関係を育てる。
4. 社会教育団体や関係機関との連絡調整を密にして公民館活動の充実を努める。

努力策

1. 住民活動の推進
① 明るく正しい選挙の推進
② 話し合い活動を進める
③ 生活の合理化につとめる
2. 健康と安全教育の推進
① 交通安全と防犯につとめる
② スポーツ同好会を育成する
③ 区民大運動会を開催する
④ 各種球技大会を開催する
3. 文化活動の推進

お願いを掲載致しました。由良自治連合会のご援助とその他の代表者の熱意ある交渉、更に宮津市当局の英断による市会提案等により、幸いにも宮津市会のご賛成を賜り七月一日付をもって柳田氏邸宅(旧研修所隣)に宮津市役所由良出張所と共に用館の運びとなりました。ここに宮津市当局、由良自治連合会に対し厚く御礼申し上げます。

素より由良中央公民館建設は砂上に楼閣を築くが如き虚言ご要望したのはなく、実績による現実からの止むと止まらぬ発想からであった。

然し、事が進みだけに二んなに早く実現するとは予期しなかった。

この事は地元の皆様の日々追っての「関心」と「声援」それに由良自治連合会の「速決」と「折衝」が大きな原動力となつて裏と結んだ事と思います。然しこの度の中央公民館の建物で満足している者ではありません。

中央公民館の建物の機能が常に社会教育的要素を多分に含み、高度の趣味生かせる独立した部屋、それに皆様が見しめと誇りをもち得られる近代的な建物であつて欲しい。然し由良の風致にマッチした、即ち由良岳と由良浜と結ぶ線上の真中上位置する、現在地で台座の殿堂を建設したい、それを理想としたいと思ひます。

その為にも今回の与えられた中央公民館と大切に所狭しと活用して頂きたいと思ひます。

尚、幸い、由良に別棟の「一戸建は老人憩いの家」として使用出来る事に決定しました。この二つとも関係各位の暖かいご配

- ① 厂史をさぐる会を中心に郷土史の研究をする
 - ② 文化祭を開催する
 - ③ 金踊を振興する
 - ④ 公民館だよりを発行する
 - ⑤ 図書館の充実と読書奨励につとめる
- 中央公民館の活用

この件は市当局や自治会長さんのご尽力により旧日進館跡に独立して七月一日より用館できることになりました。

使用規則と設け申込用紙に記入して社会教育関係に大いに利用していただくようにしたいと思ひます。

行事計画

別に掲げる通り五月の運営審議会で承認を得ました。区民のみならずのご理解とご協力を得て刀一ぱい努力したいと思ひます。

お気づきの点はご遠慮なくご指摘ご指導くださるようよろしくお願ひ申します。

公民館長 藤本 秀雄

中央公民館の用館について――主事 平 向 克 己
今年の梅雨は男性型といわれるが、矢張り梅雨はつつとしい。それもやがて白い入道雲がわき立つ頃になると、夏も本番で由良も浴着で賑わあう。

先の公民館だより(五三三三三)に由良中央公民館建設の
慮と厚く御礼と申し上げ、老人の方々が、大切な余生に生き甲斐を「憩いの家」で求めて長生きして頂くよう御活用下さい。

正しく明るくキレイな選挙を

宮津市会議員選挙 七月二日 投票日

- ① 市民挙つて 愛市の選挙
- ② 推せよ人材 捨てるな一票

「選挙を通して政治に参加する」ことの意義を考えましょう

投稿規定

- ▼ 紙面のペンネームは可とするも原稿には必ず住所、氏名を明記すること
- ▼ 原稿に關する取捨はすべて編集部に一任のこと
- ▼ 投稿は四百字詰中判(A4)原稿用紙を使用し楷書の二倍、なお原稿用紙三枚以内とする
- ▼ 締切りは二月、五月、九月のそれぞれ末日とする
- ▼ 原稿送付先は左記あり

宮津市由良 公民館文化部長 中西英夫

本年度の事業

公民館では今年も皆様の健康の増進、教育の向上、情操の純化を計り多様な時代でも清く強く生きることの意義を公民館行事に参加することにより深めて頂き度いとお願ひ致します。

◎文化部

- ①公民館だより 年三回発行(六、十、三月)
- ②座談会 年二回 (七、十一月)
- ③盆 おどり 二日同 (八月十四、十五日)
- ④史蹟めぐり 由良川兩岸 八月末頃
- ⑤文化祭 十一月頃 (生花、書道外)
- ⑥図書購入と読書奨励 土日以外毎日貸出し
- ⑦ろぼこん実施 港公民館
- ⑧郷土史の研究 毎月十日 丁史とさぐる会

部長 中西英夫 副部長 杉本舜一

部員 飯沢登志郎 中井南太 坂本 同 小松賢輔

中西俊夫 山本進次 山田和宏 岸田 明

山下良一 中西昭子 阿部比代子

◎体育部

- ①由良岳登山 四月末
- ②ソフトボール講習会 七月頃
- ③球技大会 八月十五日
- ④地区大運動会 九月十日

◎卓球大会

- ④スポーツサークル 毎週
- 剣道(火、金) 卓球(月)
- バトミントン(水、土) バレーボール(木)
- 不定時 野球 ソフトボール 庭球

部長 北野 蕙 副部長 岸田秀樹

部員 浜田吉明 森本松一 中西隆光

中西 寿 中田善壽郎 山田忠光

岸田 剛 岸田千里 山田壽子

剣道講師 森上敏夫 小室文雄

※盆おどりについて

文化部・体育部合同で行っています。浴客の参加も多いのですが、多忙のためか地元の皆様参加が少ないので多数のご参加をお願ひします。

新刊書購入のお知らせ

蛭川(筑摩書房) 宮本 輝 著

わたしの渡世日記上下巻 高峰 秀子

寄贈図書

郷土調査 京都府加佐郡由良町高野小宮校

由良将来の施設 大正三年度村是調査

町史とさぐる会復報

生活の合理化に思う 中西 昭子

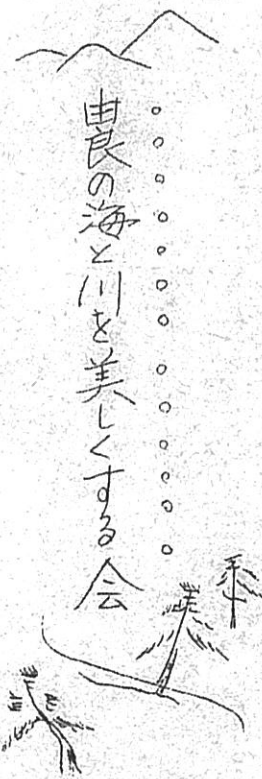
会社并大々的に人員整理の行なわれた所があるとか深刻な不況で着らしにくい中で、米価がほんの少し上がったからと国鉄料金、電気料金と次々あつちやる物価が上昇し、台所を預る主婦として日々の生活を考へなほさなければならぬ時が来っています。

三年程前より生活の合理化の一つとして見舞返しの全廃、香典返しの全廃、華儀の簡素化等、自治会、公民館、老友会、婦人会とが度々論議されましたがまだまだ守られているところ迄はいい、いやうです。

「お年寄」と「若い人達」と同居して、いられる家や色々な家族構成の中で、お葬式のことなど、「年寄をかかえているから今は何も口出し出来ない」とか婚礼のことなど、「娘はみんな苦勞して持たせて片附けたから息子に嫁をとるやうになつてから簡素化など云わばい方が得だ」とか思ひ思ひのことを云つて、いつは何時になつても、どんな良い取組みとしても徹底しないのでは結局若い人達が都会へ出たがたり、同居を嫌がる原因を自分達で作っているのではないのでしょうか。

先日公民館の文化部会で七月の自治会、公民館、婦人会、老友会の話し合ひとどういふ議題で持つて行くかと、生活の合理化は一応自肅と云うことで、と云われましたが自肅では実行されかけたことも後もどきするのではなからぬかと察します。何時の年代でも、哀々の家族の年令がまちまちなので、同じ気持ちで規約を作り実行すると云うことはむづかしいのです。

が、もう一歩踏み切つて、実行出来る取決めとして、ただ皆様に協力をお願い致したいと思ひます。地域ぐるみ一体となつて住み良い暮らし、故郷として遠くへ行かれた方達も帰りたい心境となる、もとを作る一項目から始めたいと考へるものです。



由良の海と川を美しくする会

昭和五三年五月三十一日 浜ノ路公民館に於いて第一回会合が由良自治連合会の呼びかけで行われた。出席者全員で会則案を熱心に検討し、今後具体的な動き方の指針を決める事で意見の一致を見て終つた。公民館もこの自然を美しくする問題に関心をもち、去年の十二月、公民館だよりに一言一句で海を取りあげ今年三月には館長の「社会環境を美しく」と皆様に訴えました。

ここに成立を見てはほほしい事と思ひます。「水と緑と土」の着有島山和子氏はその中で「かつて日本人は自然を愛し自然に対応して生きる民族だったのにそれが何故に自然を破壊するようになったのかと嘆いて書いています。六月十九日NHK特集「コロニアの歌声」ブラジル移民七〇年」のテレビでヒッぽ前日本の生活に失望し、ブラジルに新

天地を求めた人の中で生き残った六〇人以上の老人達が今だに
に睨に焼きついてゐるのは、日本のふるさとの風景であるとの
の争、最後に歌ったふるさとの歌で三番の「山は青きふるさと
と水は清きふるさと」を歌いながら目に涙が溢れ込んでいるの
が印象的だった

日本に住む私達こそ自然を愛し美しくしてこそ海外の同胞
の夢を打ち砕かない為にも自然の恵に応えるべき時ではない
でしょうか。

◆ 一口メモ ◆

見笑) 腐っても買(貝)くさらぬ

由良川の河口(水戸口)には昔は沃山の蛤(はまぐり)が
取れたそうです。由良の人達はそれを取って川筋の方へ(今
のように自動車や自転車がなければ)かついで売りにゆき
ました。最初は良く売れましたがだんだん売れなくなり、し
まいにほくさってしまいましたが、売りに行った人が「川筋
の奴らは見(笑)くさっても、かい(貝)くさらぬと言っ
てほやいたと申します

中西 茂

110番あなたを守る非常ベル

◎ 由良駐在所 ◎

夏期海水浴シーズンをむかえて各種事件事故の発生が
考えられます

一〇〇番をする時は次の要領でハッキリ話して下さい。

- ・どんな事件か 「強盗です」「引逃げです」
- ・いつどこで 「なん分程前 なん時ごろ」
- ・事件や事故の様子 「〇〇町の〇〇の前です」

- ・あなたの住所氏名電話番号 「犯人はまだ家におります」
- ・「交通事故でケガ人が二人です」
- ・「私は〇〇町の〇〇です」

水の事故防止に万全を!

みんなを守ろう 尊い命

今年もまた夏がやってまいりました。昨年 由良海
水浴場では三名が水の犠牲になっております

- ・大人でも無理な泳ぎをしない
- ・毎日子供に気心を持って一人で泳ぎに出さない
- ・子供に危険な場所へ行かないよう注意する
- ・不用になつた野つぼ、水そうには埋めるかふたをする。